

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防操法等訓練推進事業			会計	款	項目	大手	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	吉野 康雄			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防団員	意図	消防団員の団結力を強めて、災害発生時に対応できる技術の向上を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 東葛飾支部消防操法大会及び出場に向けた訓練 実戦消防操法大会及び出場に向けた訓練 			
事業開始から現在までの状況変化	毎年開催される千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会に出場する本市代表分団の訓練を始め、市内において実戦操法大会並びに夏季訓練等を開催し、それらに伴う訓練を実施しているものであるが、近年は都心で勤務するサラリーマン団員が増加していることから訓練日時や期間の調整が厳しくなっている状況である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	訓練回数	132	350	244	
②	参加人員	1,696	1,315	1,877	人	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 訓練回数及び参加人数は東葛飾支部操法大会への出場団員数等によって上下動している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,435,600	1,397,400	2,072,780			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		1,435,600	1,397,400	2,072,780			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	各種大会実施に向け、安全な訓練場を継続的に確保する。
②今年度(H26)に実施した取り組み	夏季訓練を実施 実戦消防操法大会を実施

③取り組みの課題	多数の消防団員が参加できるよう訓練日程や場所を調整。
④今後の改善計画	訓練を充実させて、消防団員個々の技術の低下を防ぐ。